

令和6年度 第4回 遠藤地区学校運営協議会 会議録

開催日時 2024年11月26日（木）10時～
場 所 秋葉台小学校 図書館

出席委員	<p>千葉 雄一 秋葉台中学校 校長 和田 武彦 秋葉台小学校 校長 福田 まり 秋葉台中学校 教頭 宮田 昌明 秋葉台小学校 教頭 鳥生 文子 遠藤市民センター長 渡辺 節 遠藤地区学校運営協議会会長 青木 浩一 遠藤地区青少年育成協力会会長 下川 依里奈 秋葉台小学校 PTA 会長 小林 俊 秋葉台幼稚園園長 戸倉 有希子 湘南たんぼぼ保育園副園長 駒松 佳恵 秋葉台小学校前学校評議員 高橋 恭平 藤沢市社会福祉協議会地域福祉課 CSW 堀田 順子 六会地区民生委員児童委員 伊澤 清美 遠藤地区主任児童委員 渡真利 康子 御所見地区主任児童委員 村瀬 道雄 藤沢市スポーツ推進委員 具島 弘人 秋葉台中学校保護者代表</p> <p style="text-align: right;">以上17名出席</p>
次第	<p>1 開 会 2 議題 (1) 「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果について (2) 最近の課題について (3) ①地域学校協働活動推進事業費補助金 ②コーディネーターについて 3 その他 ・「学校評価」について ・次回の会議日程（予定） 4 閉 会</p>
協議内容	<p>○「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果について3グループに分かれて協議 各グループより次のような意見が出た。 Aグループ ・子どもたちは安心感がある中で生活をしている。 ・学習に関しては競争心が生まれにくい地域である。 ・学校が楽しい、学校生活の満足度の数値は高い。 ・ゲーム、SNS など、子どもたちは生まれたときからその環境にいる。昔は調べ学習、いろいろな本をみて、どれがわかりやすいかなど見ていた。今はすぐにスマホなどで検索し、考える時間が少なくなったと考えられる。 Bグループ</p>

- ・小学校の国語の「書くこと」について話し合った。なぜ、児童は「書くこと」に抵抗があるのか。文字にすること、意見の提出など、最近ではICTを使う。意見発表をするのに使いやすいが、使いすぎると文字にすることが億劫になる児童がいるのではないか。
- ・ゲームをしながらラインで通話している場面も見ることがある。昔は誰かの家に集まってする、携帯ゲームを持ち寄るなどあったが、今はコロナ禍を経てオンラインでゲームをするようになった。

C グループ

- ・子どもたちは、自分で考えることが大切なのではと感じる。大谷翔平のように自分の将来について考えることが必要ではないか。親の背中をみて子どもは育つ。
- ・親とのふれあいを大切にすることが必須だと思う。話す力、伝える力もつく。小さい頃からの積み重ね。最近、子どもがぐずると、動画を見せたりしている。簡単に動画をみせてはいけないと感じる。
- ・伝える力が低いと、相談しづらくなる。何を聞けば良いかわからない。もやもやしても、「まいっか」で済んでしまう場合もある。
- ・スマホとネット依存の患者が増えていると聞く。また、高齢者のゲーム依存も増えている。

○秋葉台小学校 和田校長より

- ・今回の会議のようにいろいろな立場の人が集まると様々な意見が出てくるのでありがたい。様々な視点から物事を考えることができる。
- ・国語では「オンライン会議」の問題が1問目から出てくる。我々もそのような時代に合わせた視点から見ていくことが必要だと感じる。

○秋葉台中学校 千葉校長より

- ・秋葉台中学校では困難に負けずに前に進む教育を進めている。友だち関係、部活の練習に耐えられるか耐えられないか。困難に耐えられるか。そこが欠けているようにも感じる。

○最近の課題・話題について 和田校長より

- ・教員の人材不足。今は人が見つからない。こちらが声をかけてもお断りされる。人手がほしいがなかなか見つからない。藤沢市内全般的にもそういったことがある。声をかけていただければお願いしたい。免許を持っていなくてもサポート等の立場でお願いしたい状況。
- ・学校花壇の話。花がきれいに咲いている学校。土曜の夕方などに外回りの手入れをしていただいている方もいらっしやると聞いている。お気づきのことがあればお知らせください。

○その他

- ・次回の会議日程（予定）の確認

次回開催日程 2025年 2月19日（水）10時～
場所 秋葉台中学校 図書館